

目次

序文	1
目次・凡例	2
概説 日野市郷土資料館保管の巽聖歌資料について	3
【一】時事新報社『少年』『少女』での活動	4
(再録) 『少年』『少女』に掲載された巽聖歌自作の童話	5
「山羊と善兵衛の死」	5
「犬が歩いて棒にあたった話」	6
「小壺の水」	7
「或日のお日様」	8
「子雀」	10
「四十雀のおみやげ」	12
「野火」	13
「少年と龕灯」	14
「ばったの話」	15
「寝たがり屋さん」	16
(再録) 私の処女作「山羊と善兵衛さんの死」(『日本児童文学』19巻4号 1973年3月)	20
(再録) 投稿したころ(『赤い鳥』復刻版解説・執筆者索引 昭和54年)	21
【二】大正十三年・十四年日記の翻刻	23
(再録) 巽聖歌十八歳(大正十三年) 日記抄(『日本児童文学』19巻9号 特集2巽聖歌追悼 1973年8月)	24
(翻刻) 大正十四年 新文章日記	29
【三】昭和四年・八年・九年日記の翻刻	64
(翻刻) 昭和四年 自由日記	65
(翻刻) 昭和八年 当用日記	77

(翻刻) 昭和九年 常用日記	103
【四】初めての童謡集『雪と驢馬』の刊行	113
(再録) 序文(北原白秋)	114
後記・追記(巽聖歌)	116
略年譜	119
あとがき	120
資料提供者並びに協力者	120

【凡例】

- 一、本書は、日野市が所蔵する詩人・児童文学者巽聖歌(本名野村七蔵)の關係資料の中、初期の活動を明らかにする日記類を中心に、発表された童話やエッセイなどを再録したものである。大正十四年・昭和四年・八年・九年の日記は、今回初めて公開されるものである。
- 二、掲載資料の選択、原稿作成、編集は、日野市郷土資料館北村澄江が行なった。
- 三、翻刻原稿作成にあたっては、常用漢字・現代仮名遣いに改め、適宜句読点を付したが、童謡・詩については、原資料のままとした。
- 四、一部に、現在では差別用語とされる表現が用いられているものがあるが、当時の状況を示すものとして、そのまま掲載した。
- 五、()内は、編者の注記である。
- 六、本文中、特に記載のない資料は、日野市郷土資料館が保管する巽聖歌資料中のものである。

※表紙は、大正十四年日記「水口」草稿、『少年』二百四十一号「山羊と善兵衛の死」、また、表紙・裏表紙のカットは、深澤紅子装丁の『雪と驢馬』より掲載した。